

# Indonesia Weekly

2020年7月27日



(対象期間：2020/7/20～2020/7/24)

## 【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2020年7月24日)



## 【株式市場】

週初は首都ジャカルタの大規模社会制限の延長を受けてインドネシア株式市場はやや下落して始まりました。21日は、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待などを背景に医薬品メーカーなどを中心に上昇しました。その後も堅調な商品市況を受けて、鉱業セクターなども上昇しました。しかし、週末にかけて米中の緊張の高まりへの懸念から中国株などアジア株全般が下落する中で、インドネシア株式も下落し、週間では小幅な上昇となりました。

2020/7/17	2020/7/24	変化率
5,079.59	5,082.99	+0.07%

## 【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年7月24日)



## 【債券市場】

週初のインドネシア10年国債利回りは、21日の定例のイスラム国債入札を前に様子見姿勢となり小動きとなりました。イスラム債の入札結果は短期を中心に堅調となりました。その後も通貨ルピアが堅調となったことなどを背景に外国人投資家の資金流入がみられ、利回りは低下（価格は上昇）しました。

2020/7/17	2020/7/24	変化幅
7.067	6.886	-0.181

## 【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年7月24日)



100インドネシアルピアの対円レート

## 【為替市場】

ルピアは対米ドルで上昇し、対円では小幅な上昇となりました。週の半ばにかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待などから投資家のリスク選好の回復がみられ、ルピアは堅調となりました。ペリー・インドネシア中央銀行（BI）総裁は、足元のルピアの下落は一時的なものであり、ルピアは依然として過小評価されているとの見解を示し、先週の利下げについて、BIの政策の枠組みに変更がないと述べました。

2020/7/17	2020/7/24	変化率
0.7263	0.7267	+0.06%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャルグループ